

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習Ⅱ	高山 有紀	1 年次	秋

授業のキーワード	日本の歴史と教育、「学び」の意義、文字教育
授業の概要	「学び」とはということなのか、を考えていきます。様々な学びの形態とその歴史の変遷を概観し、社会的な「学び」の中から生じてきた問題について言及します。
期待される学習成果（目標）	①情報を集め、自分なりに取捨選択する力を身につけることができます。 ②調べたことを文章にまとめ、発表する力を身につけることができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。	第 9 講	報告	集めた情報をもとに簡単なレポートを作成します。ゼミ内で簡単な報告の場も設けます。
第 2 講	資料輪読①	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。	第 10 講	報告	集めた情報をもとに簡単なレポートを作成します。ゼミ内で簡単な報告の場を設けます。
第 3 講	資料輪読②	「学び」や教育史に関わる文献を部分的に輪読します。	第 11 講	資料輪読④	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
第 4 講	資料輪読③	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。	第 12 講	資料輪読⑤	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
第 5 講	テーマの設定	前講までの授業内容について意見交換を行います。	第 13 講	資料輪読⑥	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
第 6 講	情報収集①	それぞれのテーマに応じ、発表に必要な情報をどのようにして収集するのか、実践練習を行います。	第 14 講	テーマの設定	期末のレポートに向けてテーマを設定します。
第 7 講	情報収集②	それぞれのテーマに応じ、発表に必要な情報をどのようにして収集するのか、実践練習を行います。	第 15 講	まとめ	本講での学習内容を総括します。
第 8 講	情報収集③	それぞれのテーマに応じ、発表に必要な情報をどのようにして収集するのか、実践練習を行います。	定期試験		本講で学んだことをふまえ、レポートを作成してもらいます。
評価方法		授業への取り組み 40 パーセント、課題に対する評価 60 パーセント			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			辻本雅史『「学び」の復権 一模倣と習熟一』（岩波現代文庫） 小山静子監修『子ども・家族と教育』（論集現代日本の教育史 4）日本図書センター 海後宗臣・仲新・寺崎昌男『教科書でみる近現代日本の教育』東京書籍		